

Press Release

電力・装置産業向け設備資産管理（EAM（※1））のテンプレート開発を 東芝デジタルソリューションズと共同で開始

2021年5月12日
四国計測工業株式会社

当社は、東芝デジタルソリューションズ株式会社（※2）（本社：神奈川県川崎市、取締役社長：島田太郎、以下 東芝デジタルソリューションズ）と共同で、SAPジャパン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木洋史）が提供する「SAP S/4HANA®」（※3）上で動作する、電力・装置産業向け設備保全システムのテンプレート開発を開始しました。

四国電力グループである当社は、これまで伊方発電所において、SAP社のEAMソリューションをベースとした原子力設備保全システムの運用を担ってまいりました。これにより、当社は、日本の厳しい原子力規制基準に準拠した業務品質やドキュメント品質等、各種知見を蓄積してきました。

そうした知見を元に、当社は、デジタルサービスソリューションを展開する東芝デジタルソリューションズとともに、電力設備の保全ノウハウを標準化し、国内の電力会社原子力部門はもとより、装置産業の保全業務にも適用可能な設備保全ソリューションテンプレート（別紙）を開発いたします。

本テンプレートは、設備の複雑化・高経年化、業務に携わる人材の高齢化やノウハウ継承、設備の安全安定稼働、業務の効率化、保全コストの低減など、電力・装置産業において設備管理業務で直面する多くの課題解決に向けた活用が期待できるものであり、2021年秋からの提供を予定しています。

当社は、引き続き、多様な業種における設備保全業務の高度化・デジタル化への貢献を目指して、様々な取り組みを進めてまいります。

※1 EAM：Enterprise Asset Management

事業者の資産を管理し、設備の点検計画等の継続的改善を支援するシステム

※2 東芝デジタルソリューションズ株式会社：

東芝グループの4つの注力事業領域（社会インフラ、エネルギー、電子デバイス、デジタルソリューション）における「デジタルソリューション」事業領域の中核企業として、デジタルサービスソリューションを提供。

※3 SAP S/4HANA®：SAP社の第4世代ERPシステム

【お問合せ先】

四国計測工業株式会社 経営戦略本部EAM導入支援プロジェクトチーム TEL050-8802-3151

以上

設備保全ソリューションテンプレートの特長

1. 国内の設備保全ベストプラクティス（四国電力モデル）をベースとした業務改革の実現

設備保全の成功事例ベースに、お客さまの業務変革を支援します。

2. パッケージによる導入リードタイムの短縮

標準業務プロセスとパッケージテンプレートを用いることで、導入期間を短縮することができます。

3. 最新版 SAP® EAM（SAP S/4HANA®）による DX の実現

今後の取り組みが求められる保全プロセスの DX に対応した拡張機能を利用可能です。

